



SCOPH
Public Health

2012

Africa Village Project
第1回スタッフ勉強会
報告書

作成者：増田由茉
作成日：2012年10月22日

AVP 第1回スタッフ勉強会

日時	2012年8月5日
場所	東京医科歯科大学 湯島キャンパス
目的・対象	目的：・AVP スタッフ間の交流 ・各自の知識経験のレベルアップ 対象：AVP スタッフ
参加人数	8名
活動内容	<p>1.アイスブレイキング：自己紹介、及び「自分の考える国際保健、国際協力とは」を発表し合い、同じ目的を持ったAVPスタッフ同士の交流。</p> <p>2.AVP：AVP 立ち上げ時から現在までの流れ、及び今年度の方針を再確認。</p> <p>3.メンバー発表：プロジェクトの目標である「伝える」ことのスキルアップの為、4名が「国際保健」または「ザンビア」に関する自由テーマについてスライド5枚、5分のプレゼンテーションを実施。プレゼンターは他スタッフからテーマ、プレゼンスキル等のフィードバックを受ける。</p> <p>4.WS 7オのルイス君：MDGsのGoal4に掲げられている「乳幼児死亡率の削減」に関するワークショップ「ルイス少年の物語」を参考に実施。「少年が死んだ要因」をWebChart方式で挙げ「医学的・物理的・経済的・社会的側面」に分類し、それに対する対策を立場の違いから考えることで、国際保健の多方面の問題を含む難しさを学ぶ。</p> <p>5.MGDs：ミレニアム開発目標の紹介、サブサハラアフリカの乳幼児死亡率・HIV感染率などをクイズ形式で学ぶ。</p> <p>6.WS 医療コンサルタント：自身がザンビアで医療コンサルタントとして勤務している状況での正しい選択を考えるワークショップをディスカッション形式で実施。支援と先進国の医療を持ち込むことの違いを学ぶ。</p> <p>7.AVP プロジェクト草案：AVP 草案をスタッフ間で話し合いつつ作成。</p>

<p>自由記載欄 (感想、反省など)</p>	<p>夏派遣の中止から急遽企画された今回の勉強会だが、ニューカマーからベテランまでの AVP スタッフが集合し、各自有意義な時間を過ごせたことはもちろん、AVP としてもこれからの活動に向けての大きなきっかけになったと思う。過去の AVP では合宿・派遣以外になかなか顔を合わせる機会がなく、派遣に行くプロジェクトという色が濃かったが、今回の勉強会で「伝える」ことを目標とするこれからの AVP の第一歩になることを願う。個人的には普段なかなか顔を合わせたことのないスタッフ同士が交流し、今後の AVP の活動について話していたことが何よりも嬉しく感じた。</p> <p>今回参加することのできなかつたスタッフもいる為、急遽の企画ではなく AVP の活動のひとつとして、スタッフ勉強会をこれからも継続的に行なって行きたい。</p>
<p>スタッフ</p>	<p>増田由茉(活動責任者) 中村佳夏 石井遼子 原聖 岡村優真 箱山昂汰 太田真見子 南原優希奈</p>

写真

